

中・四国小学校体育連盟 創立70周年記念号

# 中・四国の体育

令和7年度 第54号

中・四国小学校体育連盟編集  
『わたしたちの体育』・『表現運動CD』の  
活用実践事例集



- ★1年 表現リズム遊び「みんなでへんしんのじゅつ！」(香川県)
- ★2年 器械・器具を使ったの運動遊び「マットあそび」(広島県)
- ★3年 ゲーム(ゴール型)「タグラグビー」(愛媛県)
- ★4年 体づくり運動「動きをつくる運動・用具を使った運動」(岡山県)
- ★5年 陸上運動「走りはばとび」(高知県)
- ★6年 陸上運動「ギリギリの高さを跳び越えよう」(徳島県)
- ★6年 表現運動(表現運動CDの活用)「わたしたちの地球を表現しよう」(山口県)

# もくじ

## 中・四国の体育

## 第54号 創立70周年記念号

◆中・四国小学校体育連盟創立70周年を祝う	
中・四国小学校体育連盟 会長 杉原 孝尚 ……	1
◆中・四国小学校体育連盟創立70周年を祝う	
中・四国小学校体育連盟 スーパーバイザー 日野 克博 ……	2
◆創立70周年 おめでとうございます	
元中・四国小学校体育連盟 顧問 中山 龍興 ……	3
◆～輝きつづけて70年～《中・四国小学校体育連盟70年のあゆみ》	4
◆中・四国小学校体育研究大会のあゆみ	10
◆中・四国小学校体育連盟と私	14
◆祝 中・四国小学校体育連盟70周年記念式典 一輝ける受賞者一	27
◆70周年記念表彰 受賞者の声	30
◆「わたしはこのように授業をしました！」～『わたしたちの体育』・『表現運動 CD』の活用実践事例集～	39
<hr/>	
<1 年> 香川県 表現リズム遊び「みんなでへんしんのじゅつ！」	
香川大学教育学部附属高松小学校 教諭 西原 昴志 ……	40
<2 年> 広島県 器械・器具を使ったの運動遊び「マットあそび」	
広島県熊野町立熊野第四小学校 教諭 長嶺 沙耶 ……	42
<3 年> 愛媛県 ゲーム（ゴール型）「タグラグビー」	
愛媛県山上市立石井北小学校 教諭 束村 英憲 ……	44
<4 年> 岡山県 体づくり運動「動きをつくる運動・用具を使った運動」	
岡山県倉敷市立大高小学校 教諭 小西 悠太 ……	46
<5 年> 高知県 陸上運動「走りはばとび」	
高知県の町立枝川小学校 教諭 馬越 新 ……	48
<6 年> 徳島県 陸上運動「ギリギリの高さを跳び越えよう」	
徳島県徳島市川内北小学校 教諭 大黒 直人 ……	50
<表現運動CD> 山口県 表現運動「わたしたちの地球を表現しよう」	
山口県山口市立大内南小学校 教諭 重宗 俊輝 ……	52
<hr/>	
◆第63回 中・四国小学校体育研究大会（島根大会）報告	54
◆70周年記念 会員表彰者	59
◆第64回 中・四国小学校体育研究大会（香川大会）予備案内	60
◆令和7年度『わたしたちの体育』教師用指導書デジタルコンテンツ一覧	62
◆中・四国小学校体育連盟歴代役員名簿（平成28年度～令和7年度）	63
◆機関誌『中・四国の体育』のあゆみ・編集後記	

## 中・四国小学校体育連盟創立70周年を祝う

中・四国小学校体育連盟 会長  
杉原 孝尚



私たち中・四国小学校体育連盟は、本年度、創立70周年という大きな節目を迎えることができました。昭和31年の発足以来、70年の長きにわたり、9県の教職員が研究と交流を重ね、小学校体育の充実・発展に努めてまいりました。この間、多くの先輩方のご尽力と、関係各位の温かいご支援により、今日の確かな基盤が築かれていることに、心より感謝申し上げます。

長年にわたり、多くの先輩方が同じ目的を共有し、学びを止めずに努力を続けてきたことは、連盟の確固たる歴史を築き、次世代に引き継ぐべき貴重な財産となっています。そして、この歴史と財産を振り返ることは、先輩方のご尽力の重みを知り、今後の活動の原動力・道しるべとする上で、非常に価値あることだと考えております。

本年10月24日、第63回中・四国小学校体育研究大会を島根県出雲市で開催いたしました。「神在月」の出雲の地で開催できたことは、70周年記念の年にふさわしく、大変意義深いものでありました。島根・出雲は「ご縁」の聖地として知られていますが、まさにその場所で、たくさんの先生方が笑顔で交流し、中・四国小学校体育連盟の絆を紡げたことは、何よりも嬉しい出来事でした。この学びの輪が、今後の研究推進の大きな力となることでしょう。

これからの時代は、AIやデジタル技術の進展などにより、子どもたちを取り巻く環境がさらに大きく変化していきます。その中であっても、体育の学びは「運動を楽しみ、仲間と協力し、成長する」場であり、子どもたちの成長に欠かせないものです。だからこそ、私たちの研究と実践は、未来を生きる子どもたちにとって大きな価値を持ち続けると言えます。

これからも、子どもを取り巻く社会や教育の姿は大きく変化していくことでしょう。しかし、子どもたちにとっての体育学習の大切さは、これからも決して変わることはありません。私たちは、これまでの経験を糧に、未来に向けて一層の努力を重ね、まずは次の大きな節目である80周年に向けて、一層の努力を重ねてまいります。

最後に、70周年記念誌の発刊にあたり、ご支援ご協力をいただきました皆様に心から感謝を申し上げます。今後とも、中・四国小学校体育連盟への温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 中・四国小学校体育連盟創立70周年を祝う

中・四国小学校体育連盟 スーパーバイザー  
日野 克博



中・四国小学校体育連盟創立70周年という記念すべき節目に、スーパーバイザーという立場でご一緒させていただけますことを、誠に光栄に存じます。

70年という長い歴史を思うとき、私自身も中・四国の出身であり、小学生のころに受けてきた体育の授業が、この中・四国小体連の皆様のご尽力によって支えられていたのだということを、改めて実感いたします。

この70年という長きにわたり、加盟各県の先生方が、子どもたちの健やかな成長と豊かな心身の充実を目指し、日々たゆまぬ努力を積み重ねてこられたことに、心より敬意を表します。小学校体育は、子どもたちの心と体を育み、一人ひとりの可能性を伸ばしていく教育の根幹をなすものです。近年、健康やウェルビーイングの重要性が改めて注目されていますが、その意味でも、体育の果たす役割や意義は今後ますます高まっていくと思います。

本連盟のこれまでの70年の歩み、そして今後のさらなる発展を思うとき、私の心に浮かぶのは、「伝統と革新」「統一と分化」「理論と実践」という三つの言葉です。

「伝統と革新」。中・四国小体連は、先人のたゆまぬ努力と知恵の積み重ねによって、今日の姿を築いてこられました。その伝統を大切にしつつ、時代の変化に柔軟に対応していくためには、常に革新が求められます。新たな理念や技術を積極的に取り入れ、進化を続けることこそが、未来を切り拓く力となるのです。

「統一と分化」。中・四国という広域のもとで、共通の理念や目標、そして熱い思いを共有しながらも、各県・各学校の実情や子どもたちの実態に応じた工夫や特色ある実践が積み重ねられてきました。全体としての「統一」の精神と、各地域や学校の特性に応じた「分化」の柔軟性、その双方のバランスこそが、これからも大切になってきます。

「理論と実践」。体育や保健の授業をより良いものに高めるため、大学教員や教育委員会などとの密接な連携のもと、理論的な裏づけと現場での実践が往還され、日々研鑽が重ねられてきました。理論と実践が有機的に結びつくことで、子どもたちにとってより実りある体育の授業が実現されるものと確信しています。

これら三つの視点は、これまでの歩みを支えてきただけでなく、これからの10年、20年を切り拓くための大切な礎となるに違いありません。変化の激しい現代において、子どもたちが主体的に体を動かし、仲間と協力し、困難に立ち向かう力を育む小学校体育・保健の意義は、今後ますます重要性を増していくことでしょう。

結びに、70周年という節目が新たな出発点となり、中・四国小体連のさらなる飛躍につながることを心より願っています。そして、加盟各県の先生方お一人おひとりのご健勝とご活躍、ならびに中・四国小学校体育連盟の一層のご発展を、心よりお祈り申し上げます。

## 創立70周年 おめでとうございます

元中・四国小学校体育連盟 顧問 広島県  
中山 龍興



創立70周年おめでとうございます。昭和30年代早々四国4県の体育科学研究組織として発足、中国5県が順次加盟し、10余年を経て昭和47年、瀬戸内海を挟んだ広域組織「中・四国小学校体育連盟」となりました。設立当初の先達の並々ならぬご尽力に感謝を申し上げます。前川峯雄先生（後の初代最高顧問）の回顧にあるように、9県の自主・独立と民主的運営の柱を確固たるものとし、子どもを中心とした研究組織として今日までのぶれない運営に繋がっています。また、第2代最高顧問 島喜八先生には、文部省（後文部科学省）との強い絆を生かしていただき、体育科行政の方向性等の情報をいち早く提供、連盟の研究や運営にご指導・ご助言くださり、中・四国の先見的な体育研究の深まりを見ました。このことは9県持ち回りの中・四国小学校体育研究大会・大会主題の変遷や公開授業によく表れ、生かされています。第3代最高顧問 成田十次郎先生には、世界的な体育史研究者の視点でご示唆いただき、本連盟は世界に類を見ない体育研究団体であるとの真実と本質を突いたお言葉は、連盟にとって大きな自信となりました。また、70年の弛まぬ歩みは、暦年の各県会長、役員、会員の皆さんの真摯な取り組み、積み重ねがあったからこそであり、心から感謝を申し上げます。また、わたくし自身連盟の活動を通してたくさんのごことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

昨年、スーパーバイザーとして愛媛大学の日野克博先生をお迎えしました。日野先生には次なる高みを目指し、現場に密着したご指導と本連盟の組織運営へのご助言をお願いいたしました。大きな期待と希望をもち、これからの創立100周年に向かって、さらに進化していくことと確信をしております。

結びに、本連盟の創立以来ずっと並走いただく文教社のご支援に深甚なる感謝を申し上げますとともに、連盟と文教社の幾久しい発展と充実をご祈念申し上げ、お祝いいたします。

# ～輝きつづけて70年～

## 《中・四国小学校体育連盟70年のあゆみ》

### I 中・四国小体連の組織確立と発展の過程

#### ◇ 昭和31年・32年度 — 四国小学校体育連盟の発足 —

昭和31年1月、徳島県池田町（清月旅館）に四国4県小体研役員と各県教委指導主事が集まり、4県が協力して小学校の体育の健全な発展を図ることを目的として、四国小学校体育連盟を結成した。2か年で四国は一つというスローガンの下、協力体制が整う。

- 規約の制定。
- 役員は各県単位に会長・理事3名で構成。
- 事業として準教科書『わたしたちの体育』の編集発行を決定。（昭和31年初版発行。出版を文教社に依頼し今日に至る。）
- 指導者を東京教育大学教授 前川峯雄先生に依頼。
- 各県の独自性尊重と協調精神を確認。

#### ◇ 昭和33年～40年度 — 四国小学校体育連盟から中・四国小学校体育連盟へ発展 —

- (1) 昭和33年5月30日に岡山県小学校体育連盟が加盟し、名称を四国・岡山小学校体育連盟に改める。昭和33年度学習指導要領の改訂告示を機に体育研究の交流が活発になる。
- (2) 昭和37年2月3日に岡山市において中・四国小学校体育連盟設立準備委員会を開催する。
- (3) 昭和37年6月10日に鳥根県小学校体育連盟が加盟する。名称を中・四国小学校体育連盟に決定する。
- (4) 昭和38年7月13日に「第1回中・四国小学校体育研究大会」を高知市立新堀小学校にて開催する。以後、毎年各県持ち回りで開催。
- (5) 昭和40年11月2日に中・四国小学校体育連盟設立10周年記念式典を高松市開拓会館にて開催する。

#### ◇ 昭和41年～50年度 — 中・四国9県による小学校体育連盟の確立 —

- (1) 昭和41年6月11日に広島県小学校体育研究会が加盟する。
- (2) 昭和47年6月3日に山口県小学校体育連盟、鳥取県小学校体育研究会が加盟する。
- (3) 昭和47年7月15日に機関誌『中・四国の体育（創刊号）』を発刊する。以後、各県持ち回りで編集、発刊。
- (4) 昭和50年6月14日に中・四国小学校体育連盟設立20周年記念式典を高松市フロンティアホテルにて開催する。

#### ◇ 昭和51年～60年度 — 中・四国小学校体育連盟組織の強化期 —

- (1) 昭和52年6月13日に前川峯雄先生の叙勲受章祝賀会を開催する。
- (2) 昭和53年度より「前川体育賞」を設ける。
- (3) 昭和55年6月6日に『わたしたちの体育』発刊25周年記念式典「文教社 多田敬由社長を讃える会」を開催する。
- (4) 昭和58年6月4日に前文部省体育官・日本女子体育大学教授 島喜八先生を本連盟の最高顧問に迎える。
- (5) 昭和60年度より「中・四国小学校体育連盟賞」を設ける。
- (6) 昭和60年6月8日に中・四国小学校体育連盟設立30周年記念式典を高松市フロンティアホテルにて開催する。

◇ 昭和61年～平成7年度 — 中・四国小学校体育連盟組織の発展期 —

- (1) 平成4年度より小学校体育科保健領域が検定教科書になり、本連盟は検定教科書『わたしたちの保健』を刊行する。同年に設立された中・四国小学校健康教育研究会に『わたしたちの保健』の著作権を譲渡する。
- (2) 平成5年度より『わたしたちの体育』に準拠した『表現運動領域伴奏音楽テープ』の制作研修委員を9県の代表で組織する。
- (3) 平成7年6月10日に中・四国小学校体育連盟設立40周年記念式典を高松市センチュリーホテルにて開催する。

◇ 平成8年～17年度 — 運営改善による組織の強化・充実 —

- (1) 平成12年11月1日に「運営改善の会」を発足する。組織運営の合理化・強化の観点から、連盟規約・事業運営の改善検討に着手する。
- (2) 平成13年6月9日に筑波大学名誉教授・元日本体育学会会長 成田十次郎先生を本連盟の最高顧問に迎える。
- (3) 平成15年6月14日に規約改正を行う。名称を「会則」に変更して施行する。本連盟役員表彰規定を作成し、16年度から実施する。
- (4) 平成17年に中・四国小学校体育連盟HPを開設する。同年6月11日に中・四国小学校体育連盟設立50周年記念式典を高松市センチュリーホテルにて開催する。

※故門田宜雄元顧問著『中・四国小学校体育連盟50年の歩み』より

◇ 平成18年～27年度 — 改訂作業等による事業の充実 —

- (1) 平成18年度に学習カード入り改訂版『わたしたちの体育』を刊行する。同年、全面改訂特別委員会を発足する。
- (2) 平成22年度に全面改訂版『わたしたちの体育』『表現運動CD』を刊行する。同年、成田十次郎先生の叙勲受章祝賀会を開催する。
- (3) 平成23年度に新学習指導要領が全面実施となり、部分改訂版『わたしたちの体育』を刊行する。また、教師用指導書の評価規準を改訂する。
- (4) 平成25年度にデジタル補助教材の作成を開始する。26年度より順次『わたしたちの体育』の教師用指導書にデジタル補助教材を添付する。
- (5) 平成27年6月13日に中・四国小学校体育連盟設立60周年記念式典を高松市センチュリーホテルにて開催する。

※方川淳元顧問著『中・四国小学校体育連盟60年の歩み』より

◇ 平成28年～令和7年度 — 激動の社会情勢、学校現場の変化に即した組織運営 —

- (1) 平成28年度に『わたしたちの体育』全面改訂特別委員会を発足し、平成31年度（令和元年度）に新学習指導要領に準拠した全面改訂版『わたしたちの体育』『表現運動CD』を刊行する。引き続き教師用指導書にデジタル教材を添付する。
- (2) 令和2年3月新型コロナウイルス感染症の蔓延により全国一斉休校となる。学校再開後も体育授業が行えないなど、多大な影響を及ぼす。同年、第58回中・四国小学校体育研究大会（ひろしま大会）は、通常開催を見送り、誌面提案となる。
- (3) 令和3年度に部分改訂版『わたしたちの体育』を刊行し、教師用指導書の「評価規準」を改訂する。一連の編集過程を通して、次回全面改訂に向けた3委員会の連携の必要性などについて意識が高まり、組織運営や取り組みの見直しについて議論を開始する。
- (4) 令和5年度に教師用指導書に二次元コードを記載し、動画コンテンツの配信を開始する。
- (5) 令和6年6月8日に愛媛大学教育学部長 日野克博先生を本連盟のスーパーバイザーとして迎える。
- (6) 令和7年6月14日中・四国小学校体育連盟設立70周年記念式典を高松市ホテルマリパレスさぬきにて開催する。

## II 中・四国小学校体育連盟の事業のあゆみ

### 【第1の事業】

- 準教科書『わたしたちの体育』編集と刊行（子どもたちが手にとって見ることのできる学習手引書）  
『わたしたちの体育』初版発行（昭和31年）



### 『わたしたちの体育』大改訂版発行（昭和36年）



### 『わたしたちの体育』全面大改訂版発行（昭和46年）



『わたしたちの体育』全面改訂版発行（昭和54年）



月ごとに学習内容がまとめられた

『わたしたちの体育』全面改訂版発行（平成元年）



新学習指導要領に準じ、具体的な運動名で標記された



『わたしたちの体育』全面改訂版発行（平成13年）



めあて学習を導入した編集



『わたしたちの体育』全面改訂版発行（平成 22 年）



指導内容の透明化、豊富な運動例



『わたしたちの体育』全面改訂版発行（平成 31 年）



A4 判で内容充実、教師用指導書  
でデジタルコンテンツも掲載



- 表現領域『伴奏音楽テープ』・『表現運動CD』の編集と刊行（『わたしたちの体育』に準拠した、すぐに役立つ楽しい伴奏音楽）



表現領域『伴奏音楽テープ』の編集と刊行（平成5年）



表現領域『表現運動CD』の編集と刊行（平成 13 年）



『表現運動CD』全面改訂版の刊行（平成 22 年）



『表現運動CD』全面改訂版の刊行（平成 31 年）

○ 機関誌『中・四国の体育』の刊行（『わたしたちの体育』を活用した実践・研究成果と連盟の情報誌）



機関誌『中・四国の体育』創刊号発行  
(昭和47年)

機関誌『中・四国の体育』第4号  
20周年記念号発行(昭和50年)



機関誌『中・四国の体育』第14号  
30周年記念号発行(昭和60年)

機関誌『中・四国の体育』第24号  
40周年記念号発行(平成7年)



機関誌『中・四国の体育』第34号  
50周年記念号発行  
(平成17年)

機関誌『中・四国の体育』第44号  
60周年記念号発行(平成27年)



【第2の事業】

○ 中・四国小学校体育研究大会の開催（『わたしたちの体育』を活用した授業公開）

中・四国小学校体育研究大会のあゆみ

No	開催校	研究主題	講師
第1回 S38.07.13	高知市立新堀小学校 (高知県)	準教科書および資料の効果的取扱いによる体育学習の展開	東京教育大学附属小学校 教 頭 高田 典衛 徳島大学附属小学校 教 頭 北島 豊
第2回 S39.10.28	松山市立東雲小学校 (愛媛県)	正課時の体育学習指導を安全に能率的、効果的に進めるにはどうすべきか	東京教育大学 教 授 前川 峯雄
第3回 S40.11.02	高松市立二番丁小学校 (香川県)	技能を伸ばすための合理的指導	東京教育大学 教 授 前川 峯雄
第4回 S41.07.01	岡山市立石井小学校 (岡山県)	調整力を基盤にした体育指導	東京教育大学附属小学校 教 頭 高田 典衛
第5回 S42.10.30	徳島大学附属小学校 (徳島県)	みんなが楽しくできる徒手器械の研究	東京教育大学 教 授 前川 峯雄
第6回 S43.07.05	高知市立第六小学校 (高知県)	体力づくりを基調とした学習指導の充実	文部省 体育官 高田 典衛
第7回 S44.07.31	広島市立段原小学校 (広島県)	近代社会を生きぬく体力づくりをめざして	東京教育大学 教 授 前川 峯雄 東京大学 教 授 猪飼 道夫
第8回 S45.11.06	松山市立湯築小学校 (愛媛県)	児童の実態に即した健全なたくましい体力と社会的態度の育成をめざして	東京教育大学附属小学校 教 諭 古屋 三郎
第9回 S46.11.05	松江市立白濁小学校 (島根県)	体育によるこびを持ち、からだでわかる子どもを育てる学習指導を求めて ー調整づくりの質と量ー	東京女子大学 教 授 野沢 要助
第10回 S47.10.27	高松市立香西小学校 (香川県)	運動への魅力をどう育てるか ー生き生きとした体育指導を求めてー	東京教育大学 教 授 前川 峯雄 文部省 体育官 高田 典衛
第11回 S48.10.26	岡山市立芳田小学校 (岡山県)	人間形成に果たす総則体育の実践 ーはたらきかける子を求めてー	東京教育大学 名誉教授 前川 峯雄 文部省 体育官 高田 典衛
第12回 S49.10.29	徳島市内町小学校 (徳島県)	ひとりひとりが課題をもち、むちゅうになって活動する体育学習	文部省 体育官 梅本 二郎 東京教育大学 名誉教授 前川 峯雄
第13回 S50.10.31	広島市立牛田新町小学校 (広島県)	たしかな技能と体力の育成をめざして	広島大学 学 長 飯島 宗一 文部省 教科調査官 山川岩之助 東京教育大学 名誉教授 前川 峯雄
第14回 S51.07.02	鳥取市立醇風小学校 鳥取大学附属小・中学校 (鳥取県)	現代社会をふまえた小学校体育 ー意欲的な取り組みから生活化へー	東京教育大学 名誉教授 前川 峯雄 東京教育大学 名誉教授 浅川 正一
第15回 S52.10.28	高知市立新堀小学校 (高知県)	現代社会のひずみをふまえた小学校体育 ー学級経営を生かしてー	中京大学 教 授 前川 峯雄 文部省 教科調査官 大木昭一郎
第16回 S53.11.17	防府市立華浦小学校 防府市立新田小学校 (山口県)	新学習指導要領の主旨をふまえたたしかな学校体育をめざして	中京大学 教 授 前川 峯雄 筑波大学 教 授 高田 典衛
第17回 S54.10.12	平田市立平田小学校 (鳥取県)	楽しい運動学習の追求	横浜国立大学 教 授 高田 典衛
第18回 S55.10.31	松山市立椿小学校 (愛媛県)	楽しく、確かな運動学習の追求	中京大学 教 授 前川 峯雄 横浜国立大学 教 授 高田 典衛
第19回 S56.10.30	琴平町立琴平小学校 (香川県)	子どもがよろこんで取り組む運動学習の創造	前横浜国立大学 教 授 高田 典衛
第20回 S57.10.29	倉敷市立大高小学校 (岡山県)	強い体と豊かな心 ー生き生きと生活しながら、ともに伸びる体育学習ー	文部省 体育官 島 喜八 前横浜国立大学 教 授 高田 典衛
第21回 S58.10.28	藍住町立藍住南小学校 (徳島県)	運動の楽しさを求める体育学習のための評価のあり方	日本女子体育大学 教 授 島 喜八
第22回 S59.10.26	広島市立舟入小学校 (広島県)	運動する喜びが高まる体育学習	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 日本大学 教 授 遠藤 幸雄
第23回 S60.10.25	高知市立泉野小学校 (高知県)	たくましい体と豊かな心 ーめあてを持ち、共に伸びる体育学習ー	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 奈良教育大学 助教授 高橋 健夫
第24回 S61.10.31	萩市立明倫小学校 (山口県)	ひとりひとりが楽しさを味わい、力いっぱいがんばる体育学習	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 東京慈恵会医科大学 教 授 小野 三嗣
第25回 S62.10.16	鳥取市立美保小学校 鳥取市立明德小学校 (鳥取県)	喜びを持ち、生き生きと運動する子どもの育成	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 文部省 教科調査官 杉山 重利
第26回 S63.10.28	松山市立石井東小学校 (愛媛県)	一人一人が生き生きと取り組む体育学習の追求 ー能力に応じた自己実現をはかることを目指してー	中・四国小学校体育連盟 顧 問 北島 豊 文部省 体育官 杉山 重利
第27回 H01.10.26	出雲市立今市小学校 (島根県)	一人ひとりに「自ら学ぶ力」を育てるにはどのように指導したらよいか ーわかってできる体育学習を求めてー	日本女子体育大学 体育学部長 島 喜八
第28回 H02.10.26	高松市立太田南小学校 (香川県)	自ら学び、運動のよさを味わう体育学習の創造	日本女子体育大学 体育学部長 島 喜八 文部省 体育官 杉山 重利

No	開催校	研究主題	講師
第29回 H03.10.25	岡山市立横井小学校 (岡山県)	一人ひとりが自ら進んで運動の楽しさや喜びを求める体育学習	日本女子体育大学 体育学部長 島 喜八 文部省 体育官 笠原 一也
第30回 H04.10.30	徳島市八万小学校 (徳島県)	運動の楽しさを自らの力で追求する子どもを育てる体育学習 - 自発的・自主的な活動を生み出す評価のあり方 -	日本女子体育大学 体育学部長 島 喜八 文部省学校健康教育課 教科調査官 石川 哲也
第31回 H05.10.29	広島市立神崎小学校 (広島県)	一人ひとりが運動の楽しさや喜びを味わう体育学習 - 自分の課題を持って自ら取り組む子どもを育てる -	日本女子体育大学 体育学部長 島 喜八 モンテリオールオリンピックバレーボール 金メダリスト 中野真理子
第32回 H06.10.28	高知市立横浜小学校 (高知県)	チャレンジ体育学習 - 自ら課題に挑戦し一人ひとりが意欲的に取り組む体育学習 -	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 文部省 教科調査官 池田 延行
第33回 H07.10.27	防府市立華浦小学校 (山口県)	楽しさや喜びを求めて力いっぱいやりぬく体育学習	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 モスクワオリンピック体操競技 日本代表 笹田(加納)弥生
第34回 H08.10.18	鳥取市立湖山西小学校 鳥取市立賀露小学校 (鳥取県)	躍動する鳥取の子ども - 運動の楽しさを味わい自ら学ぶ体育学習をめざして -	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 文部省 教科調査官 池田 延行 ㈱アシックス 取締役社長 鬼塚喜八郎
第35回 H09.10.31	松山市立窪田小学校 (愛媛県)	子どもが創る体育学習 - 子どもの思いや願いを生かす支援の在り方 -	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 文部省 教科調査官 池田 延行
第36回 H10.10.23	松江市立大庭小学校 (島根県)	子どもの「生きる力」をはぐむ体育学習 - 運動の特性にふれ楽しさを共に追求する体育学習をめざして -	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 文部省 教科調査官 池田 延行
第37回 H11.10.21	宇多津町立宇多津小学校 (香川県)	楽しさを拓く体育学習 - 運動に親しむ子供の資質・能力を培うための教材化 -	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 文部省 教科調査官 池田 延行
第38回 H12.11.02	倉敷市立中庄小学校 (岡山県)	「生きる力」をはぐむ体育 - お互いのよさや違いを生かし合い、自らが運動を創る体育学習 -	日本女子体育大学 教 授 島 喜八 文部省 体育官 池田 延行
第39回 H13.10.19	徳島市佐古小学校 (徳島県)	21世紀の体育 - 「運動する楽しさ」を求めて、自分らしさが輝く授業 -	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 文部科学省 教科調査官 渡邊 彰
第40回 H14.10.25	広島市立可部小学校 (広島県)	笑顔いっぱい、友達いっぱい 「わかる・できる・かんじる体育」	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 筑波大学 教 授 高橋 健夫
第41回 H15.10.24	高知市立横浜小学校 (高知県)	豊かなかわりを通してともに伸びる子ども - 自他とのかわりを広げ深める学習環境の工夫 -	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 東京学芸大学 教 授 細江 文利
第42回 H16.10.22	小郡町立小郡小学校 (山口県)	「やさしさ」「たくましさ」いっぱい・・・ ～互いに認め合い、運動や健康のよさを見出す体育学習～	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 大阪教育大学 教 授 三木 四郎
第43回 H17.10.28	鳥取市立若葉台小学校 (鳥取県)	がいな喜び だんだん力 まめな体 ～豊かなかわりと学びのある体育学習の創造～	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 筑波大学 教 授 村田 芳子
第44回 H18.10.27	松山市立双葉小学校 (愛媛県)	愛媛の授業には「愛」がある 伸びる喜びをともに感じ合う体育学習	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 筑波大学 副学長 高橋 健夫
第45回 H19.10.19	大田市立大田小学校 大田市立長久小学校 大田市立川合小学校 大田市立久屋小学校 (島根県)	であって わかって ともにのびていく 鳥根の子ども - 豊かにかわり合っていく中で、主体的に学ぶ体育学習 -	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 文部科学省 教科調査官 渡邊 彰
第46回 H20.10.31	高松市立香南小学校 高松市立川東小学校 (香川県)	夢中・熱中、体育学習 ～学習内容の系統性を踏まえた授業づくり～	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 日本体育大学 大学院 教 授 高橋 健夫
第47回 H21.10.30	岡山市立大元小学校 (岡山県)	運動を楽しむ心と体をもった岡山っ子の育成 ～運動にかかわるための確かな力を育てる体育科の豊かな学び～	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 文部科学省 教科調査官 白旗 和也
第48回 H22.10.28	徳島市八万南小学校 (徳島県)	身体がうごく みんなでうごく 心がうごく 体育学習 - 「動きのおもしろさ」に着目した授業づくり -	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 東京学芸大学 教 授 松田 恵示
第49回 H23.11.02	広島市立本川小学校 (広島県)	「わかる・できる・かわり合う」体育学習	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 前旭山動物園長 北海道大学 客員教授 小菅 正夫
第50回 H24.10.26	高知市立横浜小学校 (高知県)	運動好きな子どもを育てる体育学習 - 達成感を味わう授業の創造 -	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 文部科学省 教科調査官 白旗 和也
第51回 H25.10.25	山口市立大内南小学校 山口市立大内小学校 (山口県)	山口から体育維新の風を・・・ 「楽しい体育」から「もっと楽しい体育」へ ～動きと学びを確かに高める体育学習～	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 日本体育大学 教 授 白旗 和也 東京学芸大学 准教授 水島 宏一
第52回 H26.10.24	米子市立福生西小学校 (鳥取県)	勢いのある鳥取の体育 ～はずむ心 豊かな学び 確かな力～	中・四国小学校体育連盟 最高顧問 成田十次郎 東京学芸大学 教 授 松田 恵示

# ここ10年の研究大会



## 第53回 愛媛大会 H27.10.30

開催校 松山市立椿小学校  
 研究主題 愛顔いっぱい 体育学習  
 ～豊かなかわりを通して～  
 講師 中・四国小学校体育連盟最高顧問 成田十次郎  
 愛媛大学 准教授 日野 克博

## 第54回 島根大会 H28.10.21

開催校 松江市立母衣小学校  
 研究主題 動いて気づく できていかす しまねっ子  
 ～動きを高め、運動の醍醐味を味わう体育学習～  
 講師 中・四国小学校体育連盟最高顧問 成田十次郎  
 桐蔭横浜大学 教授 松本格之祐  
 滋賀大学 教授 辻 延浩  
 日本体育大学 教授 白旗 和也



## 第55回 香川大会 H29.10.27

開催校 丸亀市立城乾小学校 丸亀市立城北小学校  
 丸亀市立城西小学校  
 研究主題 子どもと共に創る体育授業  
 ～教師の意図的な指導による子ども主体の授業づくり～  
 講師 中・四国小学校体育連盟最高顧問 成田十次郎  
 文部科学省調査官 高田 彬成

## 第56回 岡山大会 H30.10.26

開催校 倉敷市立中庄小学校  
 研究主題 課題に向き合いながら  
 身に付けた力を活用し続ける 岡山っ子の育成  
 講師 中・四国小学校体育連盟最高顧問 成田十次郎  
 東京学芸大学 副学長 松田 恵示



## 第57回 徳島大会 R01.11.15

開催校 徳島市津田小学校  
 研究主題 豊かな学びが 子供の未来をつくる 徳島の体育  
 ～運動のおもしろい世界でこだわりをもって  
 課題追求し続ける子供～  
 講師 中・四国小学校体育連盟最高顧問 成田十次郎  
 東京学芸大学 副学長 松田 恵示





### 第58回 ひろしま大会 R02.10.23

開催校 広島市立観音小学校 広島市立幟町小学校  
研究主題 深い学びを実現する 体育科の授業づくり  
講師 中・四国小学校体育連盟最高顧問 成田十次郎  
(※新型コロナウイルス感染症のため、誌上開催)



### 第59回 高知大会 R03.10.29

開催校 高知市立十津小学校  
研究主題 子どもの心に 火をつける 体育授業  
～運動の本質的な特性や魅力に触れる楽しさを味わい、  
資質・能力をバランスよく育成する指導の工夫～  
講師 中・四国小学校体育連盟最高顧問 成田十次郎  
長野パラリンピック金メダリスト マセソン美季

### 第60回 山口大会 R04.11.11

開催校 光市立島田小学校 光市立浅江小学校  
研究主題 よりよいスポーツライフを志向する体育科学習  
～子どもの「振り返り」の意識を手がかりにして  
課題解決の質を高める～  
講師 株式会社名古屋グランパスエイト  
代表取締役 社長 小西 工己



### 第61回 鳥取大会 R05.11.02

開催校 米子市立就将小学校  
研究主題 ともに学び 未来を創る 鳥取の体育  
～運動の楽しさに浸り 豊かに関わり合いながら  
課題を追究する子供～  
講師 愛媛大学 教授 日野 克博

### 第62回 愛媛大会 R06.10.25

開催校 松山市立北条小学校  
研究主題 子どもがつながり 愛顔あふれる体育学習  
講師 中・四国小学校体育連盟スーパーバイザー 日野 克博



# 中・四国小学校体育連盟と私

## 中・四国小体連との出会い

中・四国小学校体育連盟 顧問 岡山県 清原 義之



私と中・四国小学校体育連盟との出会いは今から40年前、専門委員として副読本の編集会議に参加した昭和60年であった。

毎回の編集会議では子どもたちや先生方が使いやすい、しかもどこの県でも通用する副読本を作るという大原則の元に、1ページを仕上げるにも何回も検討を重ね激論を闘わせていた。33歳であった私は先輩方の真剣さとそのご苦勞にただただ頭が下がる思いであった。

私が初めて手がけた仕事で、走り高跳びの原稿を編集会議に出したときのことは忘れることができない。その原稿は、今までの走り高跳びの授業とは違った新しいスタイルの内容であったため、「偏りがあるのではないか」「うちの県ではまだ無理」等々の論議がなされ、最初は相手にされなかった。その後、授業記録や子どもたちの記録の変化、意識調査等、客観的なデータを元に説得を続けやっとの思いでゴーサインが出たのである。これが今全国で行われている小学校走り高跳びの授業スタイルであることを付け加えておきたい。

以後、中・四国小学校体育連盟との出会いから40年になるが、中・四国の多くの先生方との出会いやその人脈は私の財産となり今に至っている。

## 中・四国小体連と私

中・四国小学校体育連盟 顧問 香川県 梶野 雅義



一番記憶に残っていることは、平成に入ってから『わたしたちの体育』の大改訂や『わたしたちの保健』の初版本の執筆に関わったことです。編集者の内田さんや原井さんの叱咤激励を受けながらも、各県の専門委員の方々と悪戦苦闘しながら何とか完成に至ったのが、今も強く心に残っています。その時期は、中・四国大会会場校で研究主任をしていたので大変勉強になりました。また、その後、行政機関に異動し、「学習指導要領の改訂に伴う内容」について説明をするときに、『わたしたちの体育』等の刊行物の執筆に関わっていたことで、より具体的な事例をあげながら説明することができたことを記憶しています。

次の関わりは、会場校の校長、中・四国小学校体育連盟副会長、参与、顧問としてですが、運営面での関わりが主なので、専門委員をしていたときの方が達成感は強かったと思います。

常務理事や専門委員の先生方は、本来の仕事である学校の用務をした上で、ボランティア活動として、県内の研究団体の用務をこなし、そして、中・四国小学校体育連盟の用務をしています。『わたしたちの体育』等の刊行物の発刊や中・四国小学校体育研究大会の開催は、このような方々の努力でできており、70年もの間、先輩から後輩へと引き継がれて現在に至っています。その根底にあるのは、「子どもたちのために」という「強い思い」です。

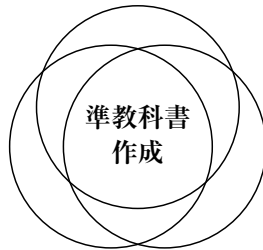
この記念誌を読まれている体育の同人の方々に、このことをご理解いただければ幸いです。

## 中・四小体連を もっと身近に

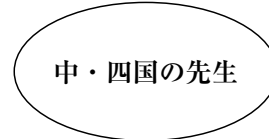
中・四国小学校体育連盟 参与 鳥取県 長谷川 誠一



今後10年，20年先へと本連盟が一層発展するために，こんなことを具現化したい。



中・四小体連 3 専門委員会



- ・準教科書の活用方法は？（動画）
- ・この技のポイントは？（動画）
- ・指導案は？（ライブラリー）

中・四国の先生と本連盟の双方向の関係，もっと身近な存在になれないか。

## 中・四国小学校体育連盟と私

中・四国小学校体育連盟 参与 高知県 島崎 雅彦



昭和60年10月。秋晴れの空の下，第23回高知大会が泉野小学校で開催されました。

この大会で3年生のシュートゲームを公開したのが，私と中・四小体連との出会いです。

平成6年には横浜小学校で第32回大会を研究主任として取り仕切りました。この大会では，今では当たり前となっている，TTによる指導方法の工夫改善や種目選択を導入した陸上運動，新教材のソフトバレーボールの授業などを提案し，講師の教科調査官には「少し先走り過ぎ」と指摘されましたが，思惑通りの大会だったと自負しています。

集大成は令和3年に十津小学校長として開催した第59回大会です。コロナ禍でしたが，研究主題「子どもの心に火をつける体育授業」の実現に向け，笑顔と歓声があふれる授業を提案しました。参加の皆様にも，子どもたちや教職員・高知県小体連の4年間の成果を公開することができました。大会以外でも，高松での編集会議や，初版本『わたしたちの保健』白表紙本の綿密検討で眠れぬ夜を過ごしたことも，今では良い思い出です。そして何よりも，この活動を通じて多くの仲間と出会えたことは私の財産です。次の10年もより良い体育の授業を提案できる会であり続けるよう，共に頑張りましょう。

## 中・四国小体連と私

中・四国小学校体育連盟 参与 徳島県 元木 啓之



中・四国小体連が創立70周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

平成11年の夏休みに記録係として先輩のお供をして初めて中・四国小体連編集会議に参加しました。それから今日に至るまで各ステージで貴重な経験をさせていただき、中・四国小体連のおかげで体育教師として充実した教員人生を歩むことができたと感じております。編集理事・専門委員の頃は、県代表として誇りとプレッシャーを感じながら緊張感をもって会議に臨みました。各県の先生方と切磋琢磨し、当番県となったときは懸命に責任を果たしました。常務理事の頃は、県内外のまとめ役としてやりがいを感じながら連絡・調整に奔走しました。県会長となって帰ってきたときは、各県の旧知の先生方との再会を喜び、懐かしさ・安心感とともに身の引き締まる思いを感じました。

こうした素晴らしい中・四国小体連に私を導いてくださったのは、中・四国の場で活躍された徳島県の先輩方です。元顧問の矢野利美先生、前顧問の嵩原彰先生、そして、片山京子先生、浜井俊洋先生、湯口雅史先生からは、体育人として、リーダーとして、「中・四国小体連愛」にあふれる多くのことを学び、教えていただきました。偉大な先輩方の熱い思いを受け継ぎ、中・四国小学校体育のさらなる充実・発展のために、微力ではありますが尽力し、恩返しをしたいと思っています。

## 「中・四国小体連とわたし」

中・四国小学校体育連盟 参与 広島県 河野 一則



中・四国小学校体育連盟が発足して70年。諸先輩方のご苦労とご努力により今日に至っていることに、心から敬意を表します。と同時に、現在の連盟を支えておられる方々に感謝申し上げます。

『わたしたちの体育』の編集に長く関わらせていただき、私自身の体育観を大きく変えていただいたように思います。それは、編集の根底にある大原則「現場のニーズを生かす」「子どもたちが使いやすい内容」「全ての先生方が使いやすい準教科書」などを基に編修作業を進めていました。そのためには、学習指導要領の理解、現場の指導の実態、子どもたちの学習状況などを把握することが必要でした。そして、編集会議では、各県編集委員の様々な考え、各県の学校現場での指導の実態などが多岐にわたり、中・四小体連としての編修における筋の通った柱をつくり上げるまでに相当苦労しました。しかし、このことが各の編集委員の考えの深まりや相互理解、連帯感が生まれたように感じます。

この経験が、私自身のそれからの体育実践の深まりに結びつきました。言わば、私自身この中・四小体連に育てていただいたのです。感謝でいっぱいです。

これからの『わたしたちの体育』が、多くの現場でより多くの先生方が活用されることを期待しております。

## 中・四国でつないだ「たすき」、この先へ

前中・四国小学校体育連盟 常務理事 愛媛県 八塚 伝



昭和、平成、そして令和と、三つの時代を中・四国の子どもたちと共に駆け抜けた70年。本県はもとより、各県諸先輩方がつないでこられた魂の襷（たすき）を受け継ぎ、精一杯に議論を尽くした日々を思い出します。

私が関わらせていただいた時期は、組織運営の過渡期真っ只中。50年目を境に、これからの50年を展望するにあたり、「これからの体育学習の在り方」と「組織運営」を改めて捉え直す時期でありました。また、時代の要請により、子どもたちの学び方にも変化と多様性が生まれ、教師自らが主体性、能動性をもって授業改善に臨むことが強く求められていました。そんな最中、汗と知恵を絞り出し、提案と吟味を日夜繰り返した場所が、ここ「中・四国小学校体育連盟」でありました。特に、常務理事会では、各提案の骨子を創り、叩き、分解・再構築する場として機能していました。いつも子どもたちを想い、先生方を想いながら、より良い考えを生み出そうと言葉を交わしました。また、各県の代表者として、事前に県内で考えを広げたり、深めたりすることを当然のように行ってから参会しました。こうした「姿勢」を自分自身に備えることも、ここで学ばせていただきました。

尽くせない感謝と、これからの深化・発展を心より御祈念申し上げます。

## 中・四国小体連とわたし

中・四国小学校体育連盟 常務理事 愛媛県 越智 純



『わたしたちの体育』の原稿を書いてみない？」当時の本県編集・刊行委員に声を掛けていただいたのが、今からちょうど10年前でした。それが、私と中・四国小体連の関わりのはじめでした。

5年後に、研修・調査委員として、体育研修会の企画・運営やアンケート調査に携わらせていただきました。県外の先生方と一緒に活動することが新鮮で、各県の風土を感じつつ、体育学習に対する熱い思いを共有することができました。

そして、昨年は愛媛県が担当県になり、第62回中・四国小学校体育研究大会を開催させていただきました。中・四国小体連役員の皆様の御理解や御協力、文教社様の強力なバックアップをいただき、松山市立北条小学校の児童や教員はもちろん、参加者の皆様の「愛顔あふれる」大会を実現できたと自負しています。経験不足で未熟な理事長でしたが、各県の常務理事の先生方にたくさんの励ましや御助言をいただき、支えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

70周年という節目に本連盟の歩みを振り返り、改めて諸先輩方が築き上げた連盟組織の伝統やその情熱に触れることで、「継続・継承」の大切さを再確認することができました。それと同時に、現役員が時代のニーズに応じた新たな組織運営の在り方を「創造」する必要性も感じています。

今後も、中・四国小体連がますます充実・発展されますよう、心から願っています。

## 「中・四国小体連と出会い、学んだこと」

元中・四国小学校体育連盟 理事長 島根県 古藤 忠男



平成10年に元理事長の手島勇人先生に声をかけていただき、それから平成30年まで県小体連の活動に携わらせていただきました。以来20年間、県小体連の事務局員、『わたしたちの体育』の編集委員、県小体連研究部長、理事長、保健の教科書、指導書の改訂作業等をさせていただきました。平成19年度の中・四国大会（大田大会）は研究部長、平成28年度の中・四国大会（母衣大会）は理事長として提案発表、研究構想、授業づくり、運営の中心として全体をまとめました。

いろいろなことが思い出されますが、心に残っているのは、故成田十次郎先生をはじめ、たくさんの講師の先生方や文教社の方々、中・四国小体連、県小体連のメンバーと出会わせていただき、たくさんのご示唆やご指導をいただき、授業づくりのヒントをいただいたり、一緒に活動したりできたことです。このような多くの貴重な経験ができたのは文教社の方々、特に田中誠也氏のおかげです。中・四国大会・小体連の思い出は、筆舌に尽くし難く、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## 中・四国小体連での学びと出会いが私の財産となっている

元中・四国小学校体育連盟 専門委員 島根県 団野 晶夫



令和7年6月14日、「中・四国小学校体育連盟創立70周年記念式典」が高松市において開催され、私も参加させていただきました。そこで、懐かしい先生方と再会することができ、昔話に花を咲かせました。話をしていると、当時のことが次々と思い出されました。

- （多いときは毎月）疲れた体に鞭打って、朝5時55分の伯備線やくもに乗って、編集・刊行委員会の会議に向かったこと。
- 宿題（『わたしたちの体育』の原稿修正）ができていないときは、肩身の狭い思いをしながら会議に臨んだこと。
- 『わたしたちの体育』の1ページを何時間も議論したこと。
- 勤務校での仕事が終わってから、夜遅くまで眠い目をこすりながら原稿と闘っていたこと。
- 懇親会で、遅くまで体育授業や学級経営などを、他の県の先生方と熱く語り合ったこと。

これらの貴重な経験や出会いが、今も学級担任（6年生）をしている私にとって、貴重な財産となっていますし、このようなすばらしい機会を与えてくださった方々に心から感謝申し上げます。

最後に、この中・四国小学校体育連盟がさらに発展していくことを心からお祈りいたします。

ありがとうございました。

## 「中・四国小学校体育連盟がつなぐ絆」

元中・四国小学校体育連盟 理事長 香川県 前場 裕平



中・四国小学校体育連盟70周年、誠におめでとうございます。私は、広報・組織委員、常務理事として、伝統ある中・四国小学校体育連盟に7年間ほど関わらせていただきました。

その間、平成29年度には中・四国小学校体育研究会（香川大会）が丸亀で行われ、理事長として大会の運営に携わることができました。大会が終わったときの達成感や安心感は今でも鮮明に覚えています。それと同時に、中・四国小学校体育連盟の役員の方々から多くの労いの言葉をかけていただいたことも印象に残っています。過日に行われた「中・四国小学校体育連盟70周年記念式典・記念レセプション」では、多くの懐かしい顔に出会い、共に当時の思い出を語り合い、楽しい時間を過ごすことができました。年月が流れても、中・四国小学校体育連盟でつながった縁は色褪せることなく続いています。「中・四国小学校体育連盟がつなぐ絆」は、とても強固なものだと実感しています。

縁があり、令和8年度にある香川県大会では、大会の会場校教頭として携わる予定です。これまで続けてきた素晴らしい大会と同様に、参会者の皆様にとって実りある大会になるよう、尽力する次第です。

## 中・四国小体連と私 一つながりが紡ぐ継承の力

元中・四国小学校体育連盟 専門委員 香川県 大西 美輪



平成26年から9年間、研修・調査委員として活動させていただきました。委員の主な仕事は、中・四国小学校体育研究会に関するアンケートの作成・回収・分析です。参加された先生方の声を通して、各県の熱意が研究や運営に込められていること、そしてどの県にも「おもてなしの心」があふれていることを強く感じました。平成29年度には香川県で大会が開催され、私は事務局として運営に携わりました。3校での開催という難しい状況でしたが、中・四国の先生方に喜んでいただけるよう努めました。この大会運営を通して、各県の先生方が積み重ねてきた工夫や努力を知ることができ、大会の裏にある熱意と誇りを感じる貴重な機会となりました。

また、専門委員会同士の連携を深める動きもあり、『わたしたちの体育』の使用状況や活用方法についてのアンケート調査も行いました。研修・調査委員としての活動を通じて、9県がバトンをつなぎながら大会を継続していること、そして専門委員会の横のつながりによって、中・四国小学校体育連盟が70年もの歴史を築いてきたことを実感しました。今後の中・四国小学校体育連盟のさらなる発展を心より願っております。

## 「中・四国小体連とわたし」

前中・四国小学校体育連盟 副会長 岡山県 那須 健二



中・四国小学校体育連盟創立70周年、おめでとうございます。

私は、岡山県の常務理事として4年、副会長として2年お世話になりました。貴重な経験をたくさんさせていただきましたが、その中で最も心に残っていることは、常務理事当時の中・四国大会（岡山、大元小大会）です。岡山県としての授業づくり、会場校との連絡・調整、会場設営等、さまざまな準備がありましたが、それらについては県内の各担当者が連携を取りながら進めていきました。私にとって一番不安に感じていたことは、中・四国小体連との連絡・調整でした。私は常務理事として初めて本連盟に参加していました。当時、中・四国小体連のみなさんとのつながりは皆無でした。そんな不安の中、各県の先生方は温かく受け入れてくださり、快く協力していただきました。本当に心強かったことを今でも思い出します。

人と人とのつながりの大切さと、みなさんの学校体育に対する熱い思いを感じた忘れられない貴重な経験でした。

末筆になりましたが、歴史と伝統のあるこの中・四国小学校体育連盟がますます発展され、体育が大好きな子どもたちが今以上に増えることを心よりお祈り申し上げます。

## 「中・四国小体連と私」

元中・四国小学校体育連盟 専門委員 岡山県 難波 淳志



中・四国小学校体育連盟設立70周年おめでとうございます。連盟発足より諸先輩方の小学校体育への熱い思いや願いが脈々と受け継がれていることに心より敬意を表します。

私は、平成22年に中・四国小学校体育連盟に仲間入りをさせていただき、広報・組織委員として8年間、常務理事として1年間お世話になりました。短期間でしたが、出会った方々から多くのことを学び、大きな財産となっています。

広報・組織委員会では、毎年発行している機関誌『中・四国の体育』について、当時の高原参与の指導助言のもと、発行していることの意義を再確認し、機関誌に掲載している各県の『わたしたちの体育』を活用した授業実践例を現場の先生方にもっと目を通していただくための工夫について、メンバーで検討を重ねたことが心に残っています。また、指導要領全面改訂とデジタル化の流れに沿って、指導書のデジタル教材の作成にも手探りで取り組みました。担当県となった際には、県内外の先生方にご協力していただいたこと、大変感謝しております。委員の皆様がそれぞれの役割で、毎回、しっかりした準備をしてこられるため、限られた時間で中身の濃い話し合いとなっていました。子どもたちのために前向きにご尽力されている県内外の先生方にお会いできることが楽しみで、参加しては元気をいただいて岡山へ帰っておりました。

歴史と伝統のあるこの中・四国小学校体育連盟が、時代とともに進化しながら、益々発展されることを心よりお祈り申し上げます。

## 中・四国小体連とわたし

中・四国小学校体育連盟 副会長 徳島県 寺井 孝文



中・四国小学校体育連盟創立70周年を迎えられましたこと誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

平成4年に徳島で開催された中・四国小学校体育研究大会（八万大会）が、わたしの中・四小体連との出会いでした。以降、徳島で開かれた、佐古大会（13年）、八万南大会（22年）、津田大会（元年）に、県小体連の役員としての立場に関わることができ、それぞれの大会毎に徳島の体育学習がめざす場として大きな役割を果たしていると強く感じていました。特に、第57回中・四国小学校体育研究大会（津田大会）は、前年に会場校の教頭として赴任し、現場の先生方と共に中・四大会へ授業を提案する熱い思いを共有できた貴重な日々となりました。児童・職員のがんばりはもちろん、保護者・地域のみなさんに支えられて、大会はつくられていくのだということを身をもって知ることができた2年間でした。

中・四小体連役員としては、平成25年から2年間、常務理事として初めて関わらせていただきました。当時は、健教研の当番県として紙面編集会議を進めたことが思い出されます。保健学習を子どもたちにとって充実したものにするために、興味や関心をもつと思われる情報を紙面の中に集めたいその思いは9県の先生方共通の願いでもありました。

昨年からは、県の会長として中・四小体連に再び関わることになり責任の重さを痛感しています。歴史と伝統のある中・四国小学校体育連盟の益々の発展を心より祈念いたします。

## 中・四国小体連と私

元中・四国小学校体育連盟 常務理事 徳島県 東野 伸哉



この度は、中・四国小学校体育連盟70周年の記念誌に寄稿の機会をいただき、心より感謝申し上げます。連盟のこれまでの活動に深く関わってこられた諸先輩方に敬意を表するとともに、この70年を振り返る一助となれば幸いです。

私にとって特に思い出深い出来事が2つあります。1つは、令和元年に徳島県で開催された「中・四国小学校体育研究大会」です。多くの中・四国の仲間が見守るなか、授業をさせていただいたことは、今も鮮明に心に残っています。前日のレセプションでは、中・四国各県の先生方が温かい言葉と共に何度も杯を注いでくださり、その励ましが大きな力となりました。

もう1つは、『わたしたちの体育』の執筆・編集です。各県の先生方の熱い思いのこもった原稿の校正に携わる中で、私自身の体育授業を深く見つめ直す貴重な機会となりました。また、編集合宿では、杯を交わしながら夜遅くまで体育授業について語り合いました。あの合宿で杯を交わしながら育てた情熱は、人生を語り合える揺るぎない絆として私たちを結びつけました。

最後に、私が常務理事として3年間やってこられたのは嵩原彰先生のおかげです。先生からは中・四国小体連の歴史や先輩方の思いを聞いたり、組織を動かすために必要な心構えを伝授していただいたりしました。数え切れないご指導ありがとうございました。

中・四国小学校体育連盟の歴史は、多くの先生方の情熱によって紡がれてきたものです。この素晴らしい連盟が、今後も子どもたちの健やかな成長を支え続けることを心から願っております。

## 縁と絆の中・四国小体連

元中・四国小学校体育連盟 会長 広島県 清水 剛



連盟創立70周年という大偉業を、心からお慶び申し上げますとともに、長い年月、事業達成に肩を寄せ合い、辛苦の道を歩んでこられた、多くの諸先輩方に心から感謝申し上げます。

私は、中・四国小学校体育連盟に十年近く関わらせていただきましたが、多くの人のご縁や絆をいただくとともに、大きな財産を得ることができました。

編集会議では、各県が作成した原稿を元に、闊達な議論を交わしました。それぞれが自分の考えを述べ合い、自分なりに持ち帰り、新たな実践として子どもたちに返していく。そこには喜々として体育科学習に取り組む子どもの姿がありました。

また、綿密検討会議では、一言一句を確認しながらの作業に多くの時間を費やしましたが、体育科のみならず教師としての力量形成に大きな影響を与えてくれました。

会長を務めさせていただいた年は、コロナ禍により、ひろしま大会が紙上発表となり、望んだ結果に至らなかったことは遺憾でしたが、他県盟友の皆さんからいただいた多くの示唆や援助とともに、かけがえのない絆ができたことは何にも代えがたい貴重なことでした。

今後も、各県の連携をより強固にしながら、中・四国小学校体育連盟がますます充実発展することを祈念しております。

## 「中・四国小学校体育連盟への感謝」

中・四国小学校体育連盟 副会長 広島県 岡崎 貴弘



中・四国小学校体育連盟が創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

この長い歩みの中で、体育を通して子どもたちの健やかな成長を支え続けてこられた多くの先達や先生方に、深く敬意と感謝を申し上げます。

私と中・四国小学校体育連盟との出会いは、平成14年10月25日、第40回中・四国小学校体育研究大会（ひろしま大会）で授業をさせていただいたのが最初でした。このご縁をきっかけに、先輩方からお声をかけていただき、本連盟とのつながりをもつことができたことは、私にとって大きな喜びであり、かけがえのない財産となりました。こうした出会いが、私自身の考え方に新たな視点をもたらし、前に進む力を育んでくれました。ともに語り合い、学び合う中で、教育に向き合う誠実さや情熱の大切さを改めて知ることができました。この貴重なつながりを大切に、子どもたちが心身ともにたくましく成長する未来のために、これからも力を尽くしてまいります。

結びに、皆様のご健勝と本連盟の一層のご発展を心より祈念申し上げます。

## はじめは「中・四国小学校体育研究大会」から

前中・四国小学校体育連盟 理事長 高知県 平野 大輔



中・四国小学校体育連盟の活動と言えば、やはり「中・四国小学校体育研究大会」でしょう。中・四国地方9県の先生方が知恵を出し合い、その時々最先端の体育科の授業を公開されました。運動に夢中になる子どもの姿を通して、多くのことを学ばせていただきました。

高知大会にも3回関わらせていただきました。1回目は「授業者」として参加しました(第41回大会)。採用4年目のとき、同じ支部の先生から「同じ指導案で表現運動の授業をやってみないか」と声をかけていただいたのが最初でした。その後、「平野先生が好きなことで授業を公開しよう」ということになり、支部を代表して「鳴子 DE DANCING!」の授業を公開しました。間違いなく、私が小学校体育に深く関わることになるターニングポイントになりました。

2回目(第50回大会)は「助言者」として、3回目(第59回大会)は「事務局長」として参加しました。時はコロナ禍。「高知大会は『山本・平野』の2トップで行くぞ」と声をかけてくださった会場校の島崎雅彦先生のためにも何とか開催したいという思いで、会長の山本儀浩先生と様々なことを想定しながら準備を進めました。規模を縮小して開催することにはなりましたが、280名を超える先生方にご参会いただき、無事に大会を終えることができました。

第59回大会を終えて役職を離れることになりましたが、多くの先生方との出会いに感謝するとともに、これからの中・四国小学校体育連盟の益々の発展をご祈念します。

## 中・四國小体連と私

中・四国小学校体育連盟 専門委員 高知県 田中 賢史



中・四國小体連70周年おめでとうございます。連盟発足当時より、諸先輩方の小学校体育への熱い思いや願いが脈々と受け継がれていることに心より敬意を表します。

元々関東で教員をしていた私は、故郷である高知県に帰ってきて、知り合いの教員もいない中で、どのように体育を研究していけばよいのか困っていました。そんなときに声をかけてもらったのが小体連の仲間でした。その後、『わたしたちの体育』全面改訂の綿密検討で毎晩集まるようになり、濃厚な体育の時間を過ごしたことはよい思い出です。そして第59回の高知大会では、コロナ禍ではありましたが、中・四国専門委員もしながら分科会提案発表もさせていただきました。中・四国の専門委員をはじめ、県内外の多くの体育の仲間と出会えたこと、体育について語り合えること、繋がりは何よりの財産です。

この素晴らしい組織・仲間の一員として活動できていることに感謝し、今後の取り組みにも生かしていきたいと思えます。これからの中・四國小体連の益々のご発展を祈念いたします。

## 中・四国小体連に思う

元中・四国小学校体育連盟 専門委員 山口県 前川 孝



平成7年の防府市立華浦小学校での中・四国研究大会をスタートに中・四国小体連との関わりを密にしてきました。はじめの5年間は、健教研の委員としての研修を積み重ねることで、多くの先輩方から学校では学ぶことのできない多くのことを学ぶ機会をいただきました。特に、平成10年度の当番県としての役割をいただいた折には、「文面を読まれたすべての人が納得する内容・表現でなくてはならない」という言葉を肝に銘じて、何度も綿密検討を重ねたことが、今でも自分の財産となっています。

さらに、平成16年度に吉敷郡小郡町立小郡小学校という旧校名で行った中・四国研究大会では、研修代表者として『「やさしさ」「たくましさ」いっぱい…』体育学習をみんなでつくり上げたことは、今の自分をつくっている大きなエネルギーとなっています。

その後は、県小体連での関わりが中心でしたが、いよいよ今年度末をもって、後輩へとバトンを渡すときが来たと考えています。これまでに、多くの先輩方から学ばせていただいたことのすべてを後輩へと引き継ぐことはできませんでしたが、自分なりにその思いや歴史を伝えることはできたのかなと思っています。多くの皆様に言葉では言い尽くせない感謝をお伝えするとともに、今後の中・四国小学校体育連盟のさらなるご発展を心からお祈りしております。長い間、本当にありがとうございました。

## 中・四国小体連と私

元中・四国小学校体育連盟 理事長 山口県 増田 尚哉



平成17年～平成25年の9年間、山口県小学校体育連盟理事長並びに中・四国小学校体育連盟常務理事を務めさせていただきました。その間、当時の最高顧問であった成田十次郎先生をはじめ、顧問・参与の先生方、中・四国各県の先生方から様々なご指導をいただくとともに、体育にかける熱い思いを教えていただきました。また、中・四国9県、全ての研究大会に参加させていただき、工夫を凝らした大会運営、研究テーマに基づいた会場校の授業、運動の楽しさや健康のよさを実感している子どもたちを目の当たりにすることができました。これらの貴重な経験は、今の自分の糧となっています。文教社の皆様には、いつも中・四国小体連の活動を支えていただき、こうして70周年を迎えることができたのだと思います。心より感謝申し上げます。

これから自分のすべきことは「志の継承」だと感じています。山口県ゆかりの吉田松陰先生は、志に向かって生きていくことの大切さを多くのお弟子さんたちに自分の生き方を通して示されました。そして、その志を引き継いだお弟子さんたちは、見事に明治維新を成し遂げました。運動の楽しさや健康のすばらしさを子どもたちに伝えていく教員を一人でも多く育成していきたい。その志は、中・四国小体連の皆様も同じだと思います。だからこそ、中・四国各地から体育好きの教員が集まり、中・四国小体連の活動が充実してきたのだと思います。そして、気が付けば70年。改めてお祝い申し上げます。自分も微力ながら、尽力してまいりたいと思います。中・四国の先生方、引き続きご指導、ご鞭撻をよろしく願いいたします。

## 中・四国小体連とわたし

元中・四国小学校体育連盟 会長 鳥取県 近藤 剛夫



わたしが、中・四国小学校体育連盟に関わらせていただいたのは、令和5年の中・四国小学校体育研究大会鳥取（米子）大会の前後4年間となります。県内の体育研究会には長年所属してきましたが、中・四国の専門員の経験がなく、『わたしたちの体育』『わたしたちの保健』の執筆活動も行ったことのないわたしが、会長・副会長という立場で、会議や研究会に参加することになりました。

公務も多忙な中、改めて各県専門員の先生方のご苦勞を知り、頭が下がる思いでした。しかし、そこには常に前向きな空気感があり、体育学習をより充実させようという情熱や、授業の質を高めるための具体を創り出そうとするエネルギーを感じることができました。中・四国で力を合わせ、地道な中にもやりがいのある取り組みが、文教社の皆様や諸先輩方の支えのもと、脈々と受け継がれていることに感謝しなければなりません。

70年という時を経てもなお、その営みが続いていることに自信と誇りをもち、これからも受けたバトンを確実に手渡していく研究組織であることをお祈りしています。

教科書『わたしたちの保健』執筆への  
想いを支えた言葉

前中・四国小学校健康教育研究会 理事 鳥取県 谷口 俊輔



中・四国小学校体育連盟創立70周年という歴史的な節目に寄稿の機会を賜り、心より光栄に存じます。保健の教科書作りに情熱を注いでこられた健教研の先輩方、その熱い想いと願いを受け継いできた歴代の仲間たちと共に、70周年記念を慶びたいと思います。

保健の教科書執筆にあたり、私の進むべき道を示してくれた忘れられない言葉があります。当時、中・四国の参与であられる清原義之先生からいただいた『保健のプロになれ』と言うシンプルで核心をついた一言が、私の教科書執筆への想いを支えてくださいました。

各県精鋭の健教研のメンバーと「子どもたちにとって、より分かりやすい教科書にする」ために、子どもを中心に据えた議論を重ねました。教科書の一言一句、1コマ、1ページに込める保健学習への想いと願い、子どもたちが「わかった」姿を思い浮かべて議論を尽くした貴重な時間は、唯一無二の経験となりました。また、「若手の先生が見て授業ができる」ことをコンセプトに指導書を作成し、授業の流れ、核心に迫る発問、緻密な板書計画等を議論する中で、各県の保健学習のスペシャリストの先生方の授業観や授業構成等に触れ、自分自身の学びを広げ深めることにつながりました。

平成29年から令和5年まで健教研に携わった7年間。私の「保健のプロ」への道は未だ半ばですが、健教研の歴代の先輩方の熱意を受け継ぎ、今後の健教研の活動が益々充実・発展することを祈念いたします。

祝 中・四国小学校体育連盟70周年記念式典  
—輝ける受賞者—

# 祝中・四国小体連70周年

1

## 来賓

大内博久  
嵩原 彰  
中山龍興

2

## 感謝状

スーパーバイザー  
日野克博  
文教社社長  
田中早苗  
ムレコミュニケーションズ社長  
牟禮昌史

3

## 表彰状

### 前顧問

横山喜一郎

### 顧問

梶野雅義

### 参与

島崎雅彦  
元木啓之

### 歴代会長

第60代 芝田真次  
第61代 作野宏喜  
第62代 木村彰伸  
第63代 有森貢  
第64代 中江英生  
第65代 清水剛  
第66代 山本儀浩  
第67代 西川孝文  
第68代 近藤剛夫  
第69代 山本智啓  
(10名)

### 歴代理事長

第60代 土井祥二郎  
第61代 古藤忠男  
第62代 前場裕平  
第63代 原哲也  
第64代 花森誠二  
第65代 大田直樹  
第66代 平野大輔  
第67代 佐々木智哉  
第68代 夏目貴史  
第69代 越智純  
(10名)

# 記念式典 - 輝ける受賞者 -

(敬称略)



中・四国小学校体育連盟70周年記念役員表彰 2025年(令和7年)6月14日 於 ホテルマリンパレスさぬき

## 役員

中川 祐二	大西 美輪	小西 潤児
八塚 伝	小川 泰永	田所 潤子
仙波 奈美	小林 紀彦	二宮 健輔
団野 晶夫	難波 淳志	田中 賢史
三島 康紀	西田 真悟	田中 歩
郷原 秀文	二宮 あゆみ	石原 孝一
山西 達也	東野 伸哉	内田 誠
木田 英登	西岡 宏	(23名)